

平日夜間・休日診療

【平日夜間診療】

小児科・内科

「平日夜間及び休日急患診療所」(6月30日(日)までは緑丘2-2-27、上尾医療センター内、☎774-2661・☎772-1353 / 7月1日(月)からは緑丘2-1-27、東保健センター3階、☎774-1414)で行っています。

- ▶診療日 月～金曜日(祝日を除く)
- ▶診療時間 午後8～10時(受け付けは午後8時～9時30分)

【休日診療】

小児科・内科・外科

「平日夜間及び休日急患診療所」(上記参照)で行っています。

- ▶診療日 日曜日・祝日・年末年始
- ▶診療時間 午前9時～正午、午後1～4時(受け付けは午前は11時30分まで、午後は3時30分まで)

平日夜間及び休日急患診療所は、急患の人に応急的診療だけを行います。慢性疾患の診療やかかりつけ医などと同様の精密検査などには対応していません。また投薬は、最低日数分になります。

歯科

「北足立歯科医師会休日診療所」(鴻巣市赤見台1-15-23、☎048-596-0275)で行っています。

- ▶診療日 日曜日・祝日
- ▶診療時間 午前9時30分～午後0時30分

【休日】

産婦人科

7月	当番医
7日	ナラヤマレディースクリニック ☎771-0002・☎771-3922
14日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122
15日	ひらしま産婦人科 ☎722-1103・☎722-1146
21日	ナラヤマレディースクリニック ☎771-0002・☎771-3922
28日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122

- ▶診療時間 午前9時～正午、午後1～4時
- ◆広報掲載の後、当番医の変更が生じる場合もあります。各新聞の埼玉版休日医欄も参考の上、お出掛けください。

●こんな時には、埼玉県救急医療情報センターの県民案内サービスのご利用を！

- ①救急車を呼ぶほどではないが、緊急に受診が必要なとき
- ②休日・祝日、夜間などのとき
- ③どこで診てもらえばよいか分からないとき  
診療が可能な医療機関をご案内します。

▶電話番号 824-4199(24時間対応)

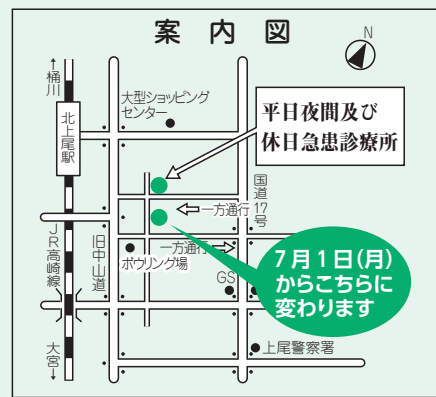
医療機関・薬局の情報は、県ホームページの埼玉県医療機能情報提供システム(☎http://www.iryu-kensaku.jp/saitama/)も併せてご利用ください。

●子どもの急な病気に困ったら小児救急電話相談に相談を！

子どもの急病時(発熱、下痢、嘔吐など)の家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

▶相談日時 月～土曜日/午後7時～翌朝7時  
日曜日・祝日・年末年始/午前9時～翌朝7時

▶電話番号 #8000(NTTプッシュ回線) 833-7911(ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話)



385

子宮頸がん

今月の健康

子宮がんには、胎児が育つ子宮の奥(体部)にできる子宮体がん、子宮の入口(頸部)にできる子宮頸がんの2種類があります。これら二つのがんは発症原因も主な発症年齢なども全く異なります。

子宮体がんは女性ホルモンが関与するのに対し、子宮頸がんは、性交渉によって感染するヒトパピローウイルス(HPV)によって起こるため、性体験のある女性なら誰でもかかる可能性があると言えます。

HPV感染は基本的には風邪にかかるのと同じような感染症であり、ごく一部の人ががんへの変化が生じます。また発症年齢も、子宮体がんは80歳が閉経後の50歳以降であるのに対し、子宮頸がんは30～40歳代が多く、前がん病変と早期がんは20～30歳代が多くなっています。近年急増している子宮頸がんは、これから結婚・出産を迎える年代にとって特に深刻です。

子宮頸がん発症原因が発がん性HPVであることが解明され、予防ワクチンが開発されました。予防ワクチンの接種によってHPVの感染をおよそ7割予防できます。またワクチン接種と併せて、早期発見のために定期的に子宮頸がん検診を受けることが重要です。ハイリスクHPV感染が長期間続き、子宮頸部の異形成ががん化するまで、数年から十数年かかります。そのため定期的な子宮頸がん検診により、前がん病変やごく初期の段階での発見ができれば、その後の妊娠や出産が可能でです。

子宮頸がんは、検診とワクチンで予防できるがんです。これからはワクチンでHPV感染を防ぎ、定期検診により前がん状態で見つけて子宮温存する時代です。欧米に比べて日本の定期検診の受診率は特に低く、20歳代で5割未満です。最新の検査方法は、細胞の異常変化を調べる細胞診検査とHPV検査を同時に行う併用検査によって、正確な検査結果が得られます。

上尾市医師会

# けんこうガイド

6月 7月

健康推進課  
西保健センター 〒362-0074 春日2-10-3  
☎774-1411 ☎776-7355  
東保健センター 〒362-0015 緑丘2-1-27  
(7月1日から) ☎774-1414

内=内 容  
対=対 象  
定=定 員  
持=持 ち 物  
費=費 用  
申=申し込み

母子保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
すくすく計測会	7月10日(水) 東保健センター	<b>内</b> 身長・体重の測定 <b>対</b> 就学前の乳幼児 <b>持</b> 母子健康手帳、おむつ、バスタオル	<b>申</b> 当日、直接会場へ ※発熱時や感染性疾患の疑いのある人はご遠慮ください。
	午前9時30分～11時		
フッ素塗布	6月24日(月) 原市公民館	<b>内</b> 歯科健診(1歳6か月児健康診査など)を受診した就学前の幼児 ※6カ月間隔で塗布できます。 <b>持</b> 母子健康手帳、タオル、歯ブラシ	<b>費</b> 1,365円 <b>申</b> 当日、直接会場へ ※事前に必ず歯を磨いてきてください。
	午後1時15分～2時		
育児教室	7月18日(木) 東保健センター	<b>内</b> 親子の遊び、救急処置、簡単な離乳食、気を付けてほしい症状を学ぶ <b>対</b> 平成24年10月1日～平成25年1月31日生まれの乳児と保護者	<b>定</b> 30組(応募者多数の場合は抽選) <b>費</b> 100円(食材費) <b>申</b> 往復はがきに住所・親子の氏名・乳児の生年月日・電話番号・日程を記入して、6月18日(火)まで(必着)に西保健センター「育児教室」係へ(返信用の住所・氏名を記入してください)
	7月24日(水)		
	1日目/午前9時30分～正午 2日目/午後1～4時 ※2日間1コース。2日目に託児あり。参加は1組1回。		

成人保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
健診結果説明会	7月8日(月) 原市公民館	<b>内</b> 保健師・栄養士による健康相談 <b>対</b> 健診結果、生活習慣病予防に関心のある人	<b>定</b> 人数が多い場合、個別相談は先着20人
	受け付け/午後2時～同15分		
運動教室	6月24日(月) 西保健センター	<b>内</b> メタボ予防のための運動指導 <b>対</b> 40～64歳の人 ※現在治療中の人は医師の許可が必要です。	<b>定</b> 20人 <b>申</b> 電話で健康推進課へ(予約制)
	7月10日(水) 午後1時30分～3時30分		
統合失調症の家族サロン	6月20日(木) 西保健センター 午後1時30分～3時	<b>内</b> 共通の悩みを持つ家族の話し合い <b>対</b> 統合失調症患者の家族	<b>申</b> 当日、直接会場へ
精神科医師によるこころの健康相談	6月27日(木) 西保健センター 午後1～3時	<b>内</b> 保健師・精神科医師による面接相談 <b>対</b> 精神面で心配がある人と家族	<b>定</b> 3組 <b>申</b> 電話で健康推進課へ(予約制) ※申込時に相談内容を確認します。
臨床心理士によるこころの悩み相談	7月4日(木) 西保健センター 午前9時～午後4時	<b>内</b> 臨床心理士・保健師による面接相談 <b>対</b> 対人関係に悩んでいる、眠れないなどのこころの悩みを抱えている人	<b>定</b> 4組 <b>申</b> 電話で健康推進課へ(予約制) ※申込時に相談内容を確認します。
統合失調症の家族教室	7月11日(木) 7月16日(火) 7月26日(金) 午後1時15分～4時	<b>内</b> 医師・薬剤師・精神保健福祉士などによる講義と話し合い。家族の体験談(3日間で1コース) <b>対</b> 統合失調症の家族	<b>定</b> 15人 <b>申</b> 6月21日(金)までに電話で健康推進課へ(予約制)
集団検診 各種健康診査	胃がん/肺がんセット検診、乳がん検診、成人歯科健康診査、20～30歳代ヘルスチェックの申し込みを受け付けています。日程・申し込み方法など、詳しくは『平成25年度上尾市健康カレンダー』または市ホームページをご覧ください。		
個別検診	大腸がん・子宮がん・前立腺がん・骨粗しょう症・肝炎ウイルス(B型・C型)検診の実施期間は5～11月です。対象者には4月下旬に受診券を郵送しました。詳しくは『平成25年度上尾市健康カレンダー』または市ホームページをご覧ください。		